

平成 25 年寄付金箱による器材購入のご報告

平成 25 年中の寄付金箱設置に際してご協力いただきました方々や各事業所におかれましては、当クラブへのご理解とご協力に重ねて深く御礼申し上げます。

おかげさまで平成 25 年寄付金箱設置事業によって、「レスキューチューブ」という救助器材を 1 本購入しました。

「レスキューチューブ」とは、溺れている人を泳いで助けに行く際に使用するもので、浮力体にロープとストラップが付いており、浮力体を溺者に巻いて泳いで救出するものです。

このレスキューチューブは、いつ溺水事故がどこで起きても対応できるようパトロール中は常にライフセーバーそれぞれが携行するものですが、当クラブではレスキューチューブの保有数が不足しており、まだまだライフセーバーがレスキューチューブを持たぬままのパトロールを強いられている現状です。

平成 26 年夏季パトロールから早速このレスキューチューブが配備され、ライフセーバーの活動と海水浴客の安全に大活躍しています。

